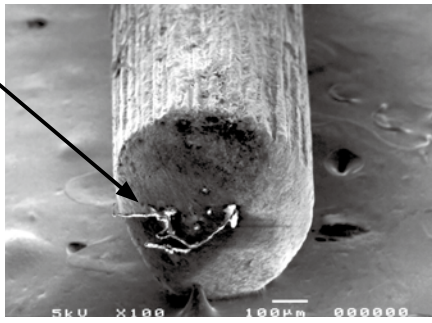


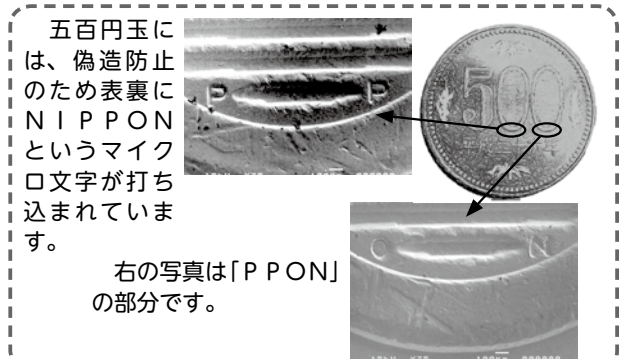
そこでぜひ新しくなった茂原市立図書館へ足をはこんでいただきたいのです。専門家による動植物や人体組織を写した良書が備えてあります。驚きの画像を見れば、興味を覚える事は請け合いです。電子顕微鏡のこれからの可能性にワクワクするはず。

また、風戸氏の伝記的な図書もあります。

これを機会にわが故郷茂原が電子顕微鏡開発に関与し、私たちの生活の向上に寄与したことを確かめていただき、未来に思いを馳せていただきたいと思えます。



紙に文字を書いた後のシャープの芯。先端には、紙の繊維が付着しています。



右の写真は「P-PON」の部分です。

玉止に防偽のP-PONマークが打込まれているのは、偽造防止のためです。

※電子顕微鏡資料および試料写真は、茂原樟陽高校より提供いただきました。

参考文献

- ・ 細胞紳士録 (カラー版)
- ・ ぶらりマイクロ散歩
- ・ 超マイクロ世界への挑戦
- ・ (以上3冊 岩波新書コーナー)
- ・ ミクロのワンダーランド
- ・ ミクロの世界
- ・ ミクロの世界にズームイン (以上3冊 児童書コーナー)
- ・ よおーし電子顕微鏡でいくぞ
- ・ 風戸健二氏著作
- ・ (郷土資料コーナー)

夏休み
感動しました
がんばりました

日本画家 木内キミ江展
ギャラリートーク

美術館・郷土資料館 開催中の美術収蔵展の作者によるギャラリートークが、去る8月3日に行われ、約30名の参加がありました。

79歳になられる作者から、藻原寺と同じ日蓮宗のお寺に嫁ぎ苦勞を重ねた思い出話、ラオスに小学校を設立する等の社会貢献活動を行うに至った経緯、絵1点ごとに込めら



作者の絵を前にして

れた想いなどを、涙ながらに語っていただきました。

参加者からは、寺院風景に描き込まれた修行を積む僧侶の姿に、引き込まれてゆくような感じがするといった感想が寄せられました。

※日本画家・木内キミ江展は10月19日(日)まで開催されています。

美術館・郷土資料館
☎2131

夏休み工作教室

鶴枝公民館

市内小学生を対象に、気軽に参加できる短期間の講座を8月の水曜日に、1回2時間4回行いました。

受講生は小学1年生から5年生まで男女20名でした。簡単なものから紙飛行機、万華鏡、バックカー等、紙工作を中心にチャレンジしました。

子供たちからは「初めてやってみて、楽しかった」「学校では体験できないことができて面白かった」「夏休みの良い思い出になった」「難しくなくて上手にできなくても、先生が色々アドバイスをしてくれたので、何とか作品を完成することができた」「また別の工作にチャレンジしてみたい」などの感想がありました。

この工作教室では、ひもを結ぶことから穴に糸を通すことまで子供たち自身に直接体験してもらい、ものを作ることの感動や喜びを感じて欲しいと思い企画しました。



上手に切れるかな？

完成した作品は、公民館主催教室の作品として、文化祭に展示する予定です。

鶴枝公民館
☎251834